

第26回GM維持管理推進委員会議事録

1. 開催日時 2022年 2月17日(水) 10時00分～12時00分

2. 開催方法 オンライン会議

3. 参加者 (敬称略)

委員長 吉開 守

委員 松村 孝

同 清水 壱浩

同 水島 高弘

同 山下 俊哉

同 手嶋 泰三

代理出席 森本 雅樹

同 竹内 康洋

オブザーバー 竹中 史朗

事務局 大石 直豪

欠 席 井上 好道

同 荒木 勇輝

議事経過

初めに事務局より開催宣言と本日の委員会の出席状況について報告があった。

その後、吉開委員長より「今年度の委員会は全てオンラインでの開催となったが、このような開催方法は委員間のコミュニケーションは図り難い部分はあるものの、情報や課題共有ということについては充分目的を果たせることが理解できた。但し当委員会の活動主軸である研修会開催については活動が難しく停滞したが、来年度以降の研修会開催方法はリアル開催だけでなく、今年度も一部オンライン開催も実施できたため、積極的にオンラインを活用してコロナ禍前の研修会開催水準へ戻していきたい。

一方で、下水道台帳管理マニュアルVer. 5へ改定され、本工業会が長年提唱していたGMの管理項目も反映されたことでより自治体への提案活動が行い易くなったこと、世論への啓発を目的に一昨年から取り組んだマンガ広報誌がGKP広報大賞（民間部門賞）を受賞するなど成果につながる明るい話題もあった。

コロナ禍における今年度の活動の成果や課題を振り返り、次年度の活動計画について共有し具体性をもって次年度を迎えたく活発な議論をお願いしたい」との挨拶があり、議題に入った。

議題1：令和3年度 委員会活動状況の共有について

事務局より本編資料に基づいて、今年度の活動状況について詳細な説明と報告があった。

1. GM更新計画の普及啓発活動

- 1) 地整/県への活動 ※特記事項は以下へ明記。

国交省HPの令和2年度下水道管路延長距離が2月から49万kmへ更新されたことをうけ、本工業会が推測する既設GM数を従来の1,500万基から1,600万基、老朽化・機能不足GM数を300万基から350万基へ変更することについて、手嶋委員から添付資料①に基づき根拠等の説明があった。

その後、吉開委員長より補足説明があり、2月7日開催の大分県研修会で台帳管理マニュアルVer. 5改定に関する情報提供について事業者の関心が高かったため、GM情報管理の必要性を継続して訴求する。

- 2) 水コン協への活動 : 本編資料通りに説明があった。
- 3) 管診協との取組み : 本編資料通りに説明があった。
- 4) 管路協への活動 : 本編資料通りに説明があった。

2. GM維持管理における基盤整備

- 1) 国交省雛形資料へのGM追記と周知拡大：本編資料通りに説明があった。
- 2) 白本へのストマネ計画策定歩掛_GM編の反映に向けた動向把握：本編資料通りに説明があった。

3. GM維持管理の広報活動

- 1) 下水道事業団（JS）研修会への講師派遣：本編資料通りに説明があった。
- 2) マンガ広報誌を活用したGM改築の予算獲得：本編資料通りに説明があった。
その後、手嶋委員より添付資料②のマンガ広報誌第2弾の下書きについて詳細な説明があった。
尚、第2弾では小学6年までに習わない漢字には読み仮名をつけるなど、子供達にも判り易くし広く関心を持って頂けるように配慮した。
下書きを確認し意見があれば2月24日までに事務局へ連絡するように要請があった。
- 3) マスメディアを活用した企画記事：手嶋委員より、本編資料および添付資料③に基づき2月22日に発刊される企画記事の内容について詳細な説明があった。

4. その他

本編資料に基づいて説明があった。

その後、意見等を募ったが特に無く議題1を終えた。

議題2：JSWAS G-4規格改正の進捗状況等について

事務局より、本編資料と添付資料に基づきJSWAS G-4規格改正の進捗状況と今後のスケジュール等について詳細な説明があった。

その後、意見等を募ったが特に無く議題2を終えた。

議題3：令和4年度 委員会活動計画の骨子についてその他

吉開委員長より、当委員会の令和4年度活動計画（案）と添付資料④に基づいて詳細な説明があった。

続いて、事務局より当委員会の令和4年度の活動予算案について説明があった。

その後、意見等を募ったが特に無く議題3を終えた。

議題4：その他

事務局より、令和4年度の当委員会開催日程案に加え、委員会に関連する工業会全体の年間行事日程案について詳細な説明があった。

続いて吉開委員長より、委員会開催に関してオンライン開催を併用すること、委員会の日程案について技術広報と兼務している当委員会委員が不都合とされないか確認があった。

その後意見を募ったところ次の意見があった。

山下委員：オンライン開催が含まれるのであれば特に問題はない。

松村委員：出来れば技術広報と当委員会の同日開催も検討を願いたい。

別途、吉開委員長・広滝委員長とで委員会開催日程・方法について協議頂き再設定することとなった。

また、異動等により委員の変更が発生する場合は、事務局への連絡要請があった。

以上により本日の議事を終え、最後に吉開委員長より、「マンガ広報誌第2弾は事業者の顧客である市民の関心と理解を深めて頂くツールとして有効と思われ、反響が大きく続編の要望があれば第3弾以降も発刊を検討するがまずは第2弾の活用を強化していきたい。また改善につながる意見があれば寄せて頂きたい。今日の委員会が今年度は最後となるが、国の制度等も含めて次年度への道筋も見えてきているので引続き精力的な活動をお願いしたい。」と挨拶があり委員会を終えた。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

2022年 2月17日

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会

GM維持管理推進委員会委員長 吉開

